

4・28沖縄デー闘争へ！

全学連（斎藤郁真委員長） 書記局通信

2016年4月26日

No.380

Tel 03-3651-4861

mail_cn001@zengakuren.jp

http://www.zengakuren.jp/

全国大学で新歓講演会がうち抜かれる！

【法大・首都圏】

4月21日、法政大と首都圏大学の新歓企画として、鈴木たつお弁護士の「戦争への道を阻もう ～学生に戦争をとめる力がある～」と題した講演会を行い、初参加の学生を迎えて大成功しました！

鈴木弁護士は冒頭で労働法改悪反対のフランスの学生の闘いにふれ、これが排外主義や戒厳令をうち破って帝国主義と対決するものとして発展していることを明らかにしました。

その上で「次の社会を担う学生がどう動くかは決定的意味を持つ。戦争をめぐる権力と人民との攻防の焦点が大学だ」と強調。青年労働者との討論を踏まえ、「『今そのものの否定』をともにする団結の中から希望は生まれる。未来を団結と闘いの中で体現してゆく」「貧困やブラックバイトの現実の中で、学生も否応なしにプロレタリアートの側に投げ込まれつつある」、その中でのカギが時代認識があるとし、4月19日の東京学芸大での武田君弾圧は安倍政権の危機のあらわれであること、「政治の奪還」そのものとして京大反戦バリスト弾圧を粉碎したことの勝利性をはっきりさせました。

最後に、7月選挙戦の「新しい労働者の政党をつくらう」のスローガンに集約された意味として、①「新しい」：既成政党の全否定、②「労働者の」：労働者を代表する政治勢力の不在の中で、非正規、貧困との闘いを全労



働者のものにする党が必要であること、③「政党」：国政選挙で党派選択をせまろうと熱く訴えました。

活発な質疑応答の後、鈴木弁護士とともに選挙戦にたつ斎藤いくま委員長がまとめと行動提起。「僕らは自分たちの日常を通して政治を奪われている。この関係を根本的にひっくり返したいし、それが僕らの革命だ」「労働者が労働を奪還すること、学生がキャンパスから大学のあり方を根本的にうち崩すこと、それがこの社会を変えるために最も重要だ」と、労働の奪還を通じた政治の奪還＝社会変革に向け、自らの行動で「新しい労働者の政党」の選択肢を示そうと訴えました。新入生はじめ全員が団結を固め、決意を新たにすると講演会でした！講演会の成功を力にして、東京学芸大弾圧粉碎と武田雄飛丸君の早期奪還へ、法大ー学芸大ー東京地裁で総力をあげた宣伝戦にうって出ています！

全国の学友のみなさん、団結してともに闘いましょう！（首都圏学生・吉田悠）

辺野古への新基地建設許すな！ 改憲ー朝鮮侵略戦争とめよう！

4・28沖縄デー闘争

4月28日（木）12時半～ 法政大・市ヶ谷キャンパス集合

※13時半デモ出発

16時～ J R新橋駅から国会議事堂へデモ

※15時半集合



【京都大学】

4月19日、京大で新歓講演会が開催され、新入生や中高生、労働者など約30人が参加し大成功しました。講師は斎藤いくま全学連委員長で、具体例を豊富に挙げながら、この社会で必死で生きているからこそ生じる問題を解決するために「労働の奪還から政治の奪還（革命）」を訴え、参加者は皆聴き入りました。

質疑では、京大上回生から昨年のバリスト以後の学生運動について問題意識が出されるなど、熱い議論が展開されました。たとえば、方針を共に実践しようというときに、「公安警察に目をつけられる」という問題とどう闘っていくのかなどについて議論になりました。国家権力による弾圧や支配を打ち破るだけの団結を、分断に満ちたキャンパスの中から新しく闘いに立ち上がろうとする学生とどのように作っていくかが課題です。その後の交流会も盛り上がり、新入生と深く対話をすることができました。（京都大学・A）



【東北大学】

東北大学で4月19日、全学連書記長・坂野陽平くんを招いて学生自治会新歓講演会を行い、参加した多くの学生と重要な議論が生まれて大成功しました。

講演会のタイトルは『全国大学ストライキで安倍を倒して戦争とめよう！—なぜ安倍政権が戦争に向かうのか』。前半は昨年の安保国会闘争と京大バリストの動画、後半に坂野くんの講演です。坂野くんは京大反戦ストライキと、その後の6学生の弾圧を打ち破った地平から、「全学連は7月衆参ダブル選挙に挑戦する。



改憲・戦争阻止の一大決戦としての4～7月決戦だ。全部が改憲と戦争を阻止する決戦になる」と提起。

質疑応答では、「京大ストに対する京大生の反応は？」という質問から、ストライキを巡る活発な討論になりました。「『言っていることは分かるけど方針が激しすぎるんじゃないですか？』」と言っていた京大生が、3月の弾圧攻防の中で京大当局との非和解性をつかみ、ストライキ賛成になった。闘う中で団結が生まれる」（坂野くん）と、闘いの中でつかんできたことが全体で共有されたことが重要でした。東北大での反戦ストライキの実現に向けて主体形成を勝ち取っていく重要な講演会となりました！（東北大学・M）



【当面する行動方針】

●武田雄飛丸君の早期奪還へ～4・27勾留理由開示公判

4月27日(水) 13時～ 東京地裁にて ※12時10分に地裁内傍聴券配布所に集合
11時10分から霞が関一周デモを行います！（11時に日比谷公園霞門集合）

●5・15沖縄現地闘争

5月14日(土)～16日(月) ひめゆり資料館見学、沖縄県民大会参加、国際通りデモ、沖縄大で集会(予定)

